

# 自己実現への道

## をめざすところに生きがいがある」(その 4)

### ★未知なるがゆえに無限の可能性がある

今日という日を、現在を、楽しむことにしよう。過去の過ちは許され、未知の明日があなたを迎えてくれる。未来に何が待っているかはわからないが、未来を支配している力を、私たちは知っている。

・だから、私たちが待っている恵みを信じよう、・見えざる力が私たちの人生を計画してくれる。

・だから未知なるものに期待しよう。これが信念を持つものの生き方である。

未知なるものは、磁石のように私たちが明日へひきつける。もし未来が予測できるならば、未知なるものへの魅力や感動は消え失せ、既知なるものの退屈感にとって代わられるだろう。

人生には未知なる将来があるから、楽しいのである。

未来が心配だと多くの人は思う。しかし、希望のある人(信念のある人)は未来に期待する。それは丁度、小説や絵本を読み楽しんでいる人が、次の頁、次の章を期待しているのと同じようなものである。

見えざる力は私たちが導いて、私たちが待っている大きな目的やプロジェクトに引き合わせてくれる。

私たちは自分の未来については何の不安も覚ええない。なぜなら、私たちがこれまで置かれたさまざまな境遇はすべて見えざる力の計画によって与えられたものだ、と確信しているからである。

今行っていることが、何日後、何カ月後にうまく繋がっていることに驚くであろう。ただ、自分の心と神が一致するようになるまでには、有る程度の努力が必要である。

### ★あえてタイムリミット・ノルマを作る。

「ためらう者は取り損なう」「時は人を待たない」・・・人生のカレンダーをどう計画すればよいのか？いつ行動を起こせばよいのか？**確実にいえることはひとつ。事を成すにあたってはそのスケジュールを明らかにすることが大切である。**計画に時の額縁をはめよう。そして目標を予定表に明記するのだ。日々の進歩が見えないと、初志の情熱が急速に失われていく。だから毎日の達成目標を設定する必要がある。

目標を立てたら、タイミングのよい行動計画をたて、その達成を目指そう。

**時は人を待つてはくれない。持てるもののすべてを賭けて、さあ出発だ。**

人生は計画通りには行かない。しかし、計画を立てて行動するのだ。計画を修正しながら、一生懸命に進んでいく。もし信念があるならば、後は見えざる真理にすべてを託すことで、すべてはうまくいく。

**目標を設定したらタイムリミットを設けよう。**時間的なプレッシャーがかかると短時間のうちに驚くほどの仕事量をこなすことができるものである。

達成できなければスケジュールを変更すればよい。決してあきらめてはならない。

**毎日のノルマは必ず達成しよう。**1日1日の努力が積もって、種々の実りが得られるだろう。

**その蓄積が将来に大きな発展をもたらすのだ。**

＜MIKO＞

参考文献：Tough Minded Faith For Tender Hearted People by Robert H Schuller より